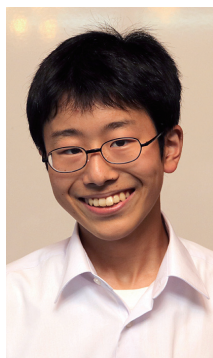


それぞれの変化と思い ―



Sasuke Hayasaka

早坂 颯翼さん
(白鷹中3年)

ホームステイでは、最初は緊張のせいであまり話すことができませんでした。二日目は自分から話しかけることができました。また、学校訪問でも会話にジェスチャーを交えるなどにかくがんばりました。

英語のみの会話はとても大変でしたが、「恥ずかしながらに言えば伝わる」ことを学び、チャレンジしてみても良かったです。これからも、伝えたいことは積極的に伝えられるようにがんばります。



Risako Konno

紺野莉咲子さん
(白鷹中3年)

将来についてホストファミリーと語り合ったことで、自分がこれから何をしたいのかをより強く考えるようになり、それを何かしらの形で白鷹町の将来に生かしていきたいと思いました。

また、研修を通して白鷹町との違いもたくさん発見できました。将来は外国で働きたいと思っていましたが、それよりも白鷹町や日本の良さを外国に伝えられる、“日本と外国のかけ橋”となるような仕事をしたいとも感じました。



Toshiaki Kobayashi

小林 利貴さん
(荒砥高2年)

「オーストラリアの教育環境を学ぶこと」と「オーストラリアの人々がどのように生活しているのかを知ること」を目標に研修に臨みました。

今回の研修を通して、「物怖じせずに物事に取り組む」という面で大きく成長できたと思うし、自分のストロングポイント（長所）にもできたと思います。今回感じたことを胸に、視野を広げて今後の生活のあらゆることに挑戦していきたいと思っています。



Ayane Oyabe

小谷部彩音さん
(荒砥高2年)

以前までの私は、自分にできないと思うことは避けてきました。しかし、不安を乗り越えて現地の人たちと会話をしていくうちに、“結果にかかわらず、まずやってみる”という気持ちが強くなり、物事に対する視野も広がりました。

将来、今回の研修が実を結ぶような活躍ができるよう、今からたくさんの方に挑戦して多くの知識を身に付け、人として大きく成長できるようにがんばります。

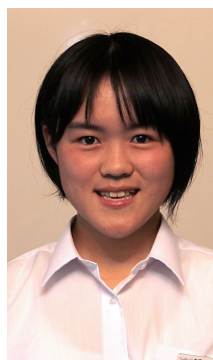


Kosuke Sugawara

菅原 光翼さん
(白鷹中3年)

今回の研修で変わったことは「自分から」の力（積極性）です。以前までの私は、自分から相手に話しかけたり意見を述べたりすることは苦手でしたが、ホストファミリーや現地の学校の生徒に積極的に話しかけたことで、今までの自分とガラッと変わることができました。

今回の研修の成果をここで終わりにせず、これからの学校生活、そして人生に生かしていきたいです。



Nichika Watanabe

渡部二千花さん
(白鷹中3年)

研修を通して白鷹町とオーストラリアの違いをたくさん発見でき、テーマでもある「目を世界に、心ふるさと」の大切さを実感することができました。

また、学校訪問では現地の生徒たちの授業に対する積極性に驚きました。これは今の白鷹中生に足りないところだと思うので、研修生としてまずは自分から行動し、伝えたいことははっきり自分の口で伝えることの大切さを皆にも伝えていきたいと思っています。